

業務改善助成金導入事例（食料品製造・飲食業）

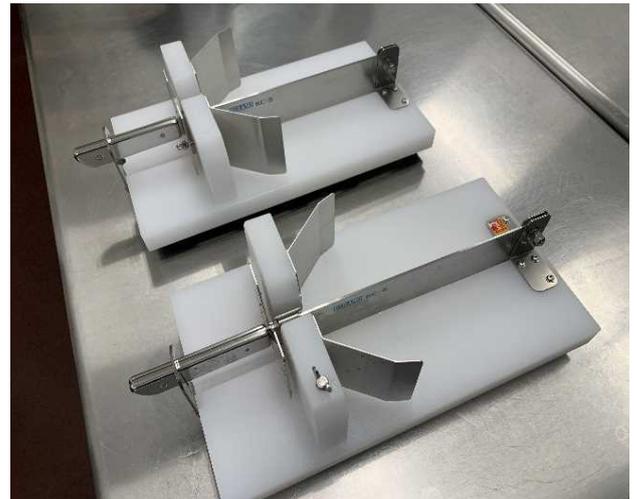
業務改善助成金・導入前

果実の加工前の皮むき、種や芯の取り除き、搾汁、果肉の切り抜き等の作業に加え、スイーツ等の材料である大型農作物のカット作業は機械化が難しいため限られた数人の従業員による手作業によらざるを得ない。このため、これらの作業にかなりの時間を要しており、後の作業工程の作業待ち時間等が生じている。

導入後



【自動搾汁器】



【大型農作物切断機】

導入後・生産性向上の効果

- 自動搾汁機の導入により、手作業で要していた時間が約10分の1程度までに短縮され、雑味のない果汁を搾汁でき、**製品の品質が向上**。
- 大型農作物切断機の導入により、特定の従業員に偏ることなく、どの従業員でも作業が可能となり、作業時間が今までの半分以上に短縮され、**業務の効率化が実現**。

【事業場の概要】

株式会社瀬戸内ジャムズガーデン
(周防大島町、従業員数 20名)

【導入内容】

自動搾汁機
農作物切断機

【改善に要した費用】 1,239,000円
【助成金額】 1,000,000円
【申請コース】 30円コース



厚生労働省山口労働局